

第4号議案 名誉会員の推薦の件

平成20年3月に開催された第39回の理事会の決議により、齋藤正徳氏を名誉会員に推薦します。

齋藤氏の当学会での活躍は以下のとおりです。

齋藤氏は1988年から2001年の14年に互り理事を、また、1994年、1995年には副会長を、1996年には会長を務められる等、積極的に学会活動に尽力された。

研究発表や論文投稿は多岐にわたり、弾性波理論から地震工学分野まで広範囲な研究成果をあげ、当学会誌には、反射法地震探査やデジタル信号処理の理論、インバージョン解析などに関する教育的な論文を多数出されており、1981年度には、「成層構造に対する反射率、表面波分散曲線の計算」に関する論文で学会賞を受賞されている。

最近では、当学会の教育プログラムのひとつである「ワンデーセミナー」において、表面波探査と微動探査の理論的背景やインバージョン解析の理論的背景などの講義をお願いし、若手技術者教育に尽力いただいている。

一方、齋藤氏は優れた教育者でもあり、大学在職中には次世代を担う人材の育成に尽力され、優秀な技術者を数多く育てている。

このように齋藤氏は学会運営、研究、さらには人材育成に活躍される等、物理探査発展への貢献は多大である。